



イノベーションによる 価値の創造を

アステラス製薬社長

安川健司

やすかわ けんじ

新

型コロナウイルスの感染拡大により社会が劇的に変化する中、経済界としてもサステイナブルな成長

の実現に向けて変革が続けてきた。従来取り組んできた課題への対応が加速したほか、新たな課題にも直面し、多くの自由が制限された環境下ではあったが、企業としては常にチャレンジし、変化を先取りする姿勢がどのような状況においても重要である。

変革を進めるためには、ベースとしてあらゆる非常事態への十分な備えが必要となる。世界情勢が不安定な中、今後も感染症対策と経済活動活性化の両立が求められることに加え、我が国では大規模自然災害が頻発しているという現状を踏まえると、リスクに強く、早期の事態収束・復旧を可能とする社会の体制・仕組みづくり、すなわちレジリエントな社会システムの構築が急務である。危機管理・社会基盤強化委員長としてこの課題に取り組みとともに、当社としても医薬品の安定供給に資するサプライチェーンマネジメントに努めていく所存である。

レジリエントな社会システムのもと、持続可能な成長を続けるには、地球環境問題をはじめとする課題解決や、より豊かな社

会の実現につながるようなイノベーションの創出が欠かせない。ヘルスケア産業に目を向けると、新型コロナウイルス感染症や経済安全保障を踏まえて、果たすべき役割の重要性がより一層増している。また、従来の医薬品は継続的な投与により症状を改善する対症療法が中心であったが、単回、または数回の投与により根本治療が期待できる細胞医療や遺伝子治療も実用化され始めている。さらには、治療だけでなく、Patient Journey（診断、予防、治療および予後管理を含む医療シーン全般）全体へのヘルスケアソリューションの提供の必要性が高まっており、ヘルスケアを取り巻く産業構造は急速に進化している。多くの産業で同様の進化がみられており、イノベーション委員長として、イノベーションを継続的に創出し、社会実装していくために必要となる規制・制度改革などの環境整備に取り組んでいきたい。

変化が激しく不確実性の高い時代だからこそ、健全なリスクを取ってチャレンジし、未来を変えていくことが求められる。経団連の皆さまとともに、イノベーションを創出し、その価値を社会に提供できるように全力で取り組んでまいりたい。